

節減対象農薬の使用状況（2018年度産）

※ 商品には下記の通り複数の生産履歴の生姜を混合しています

用途	生産者番号	使用資材名	用途	1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	1-7	1-8	1-9	1-10		1-12	1-13		1-16	1-20			
				a	b	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b							
殺菌剤		ダゾメット	根茎腐敗病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
		クロルピクリン																				
		クホルピクリン・D-D(2)																				
		メタラキシルM・アゾキシストロピン(2)		2			2	2	2	2	2	2					2			2		
		シアゾファミド		2																		
		アミスルプロム								1						1						
		有機銅・TPN(2)																				
		TPN	1		1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	4	4				1	
		トリフルミゾール	1	3		1	2	2	1	3	2	1	1								1	
		テブコナゾール	1												1	1	3				1	
		ベンチオピラド				1																
		ジフェノコナゾール			2	1																
ベノミル		1	1	1						1	1	1	1	1	1	1			1			
チオファネートメチル													1	1					1			
バリダシン液剤		バリダマイシン	紋枯病			1		1			1	1	2		2	2	1		1			
無機銅		炭酸水素ナトリウム・無水硫酸銅	軟腐病																			
銅剤		塩基性硫酸銅	軟腐病																			
殺菌剤回数				8	5	5	8	7	6	6	5	6	5	5	6	8	6	3	6			
殺虫剤		ベルメリン	ネキリムシ類																			
		テフルトリン		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
		アセフェート	アワメイガ		1			1												1		
		インドキサカルブ	ハスモンヨトウ	1	2		1		2	1	2	1	1	1						1		
		エトフェンプロックス					1	1					1									
		テフルペンズロン	ハスモンヨトウ		2			2	1	1	1	1	1	1								
		クロマフェノジド																				
		チオジカルブ							1	1												
		クロルフェナビル																				
		メタフルミゾン	ハスモンヨトウ			2					1	1					1	1				
		フルベンジアミド									1											
		クロラントラニリプロール		1		2	1	1		1	2		2	2	3	2	2			1		
		ピリダリル				1																
		ジフルペンズロン	アワメイガ											1								
		トラロメリン																				
		カルタップ	アワメイガ	2		3	1			1	2	1	3	2	2		3	3	1			
ホスチアゼート	ネコブセンチュウ																					
ジノテフラン	クロハネキノコバエ															1						
BT剤	デルフィンBT											3			2							
	ゼンターリBT																					
殺虫剤回数				5	6	8	6	7	7	7	8	8	7	7	5	7	7	2	5			
除草剤		トリフルラリン	1年生雑草	1			1				1				1			1				
		ベディメタリン																				
		ゲルホシネート				2				1	2	1		1	1				1	2		
		ジクワット・バラコート																				
除草剤回数				1	0	2	1	0	1	2	2	0	1	1	1	0	0	2	2			
農業使用回数 合計				14	11	15	15	14	14	15	15	14	13	13	12	15	13	7	13			
栽培圃場 枚数				2	2	3	5	2	3	1	2	2	1	2	2	2	1	1	1			

基準においてカウントの対象としない農薬

BT剤（デルフィン・ゼンターリ）
バリダマイシン・塩基性硫酸銅

《 表の見方 》

・ 各生産者は病害虫の発生状況に合わせて農薬を使用している為、1生産者で使用が異なる場合は「a,b,c,d」で記入しています。

節減対象農薬の使用状況 (2018年度産)

※ 商品には下記の通り複数の生産履歴の生姜を混合しています

用途	生産者番号	使用資材名	用途	1-21	1-22	1-23	1-24											2-9	2-10	2-12	2-17		2-18	3-1											
				a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	a	b	2-18	3-1																	
																					a	b													
殺菌剤		ダゾメット	根茎腐敗病		1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1										
		クロルピクリン		1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1									
		クロルピクリン・D-D(2)																																	
		メタラキシリンM・アゾキシストロピン(2)					2								2	2	2			2			2		2	2									
		シアゾファミド								1		1			1																				
		アミスルプロム				1	1	1				1																							
		有機銅・TPN(2)		紋枯病																															
		TPN			2		1																1	1	1	1	3	2							
		トリフルミゾール	白星病		2		3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	1	1				
		テブコナゾール			2																														
		ベンチオピラド																																	
		ジフェノコナゾール																															1		
ベノミル	いもち病																				2														
チオファネートメチル							1	1							1	1	1	1																	
バリダシン液剤		バリダマイシン	紋枯病	3		3	3	2	3	2	2	2	3	3	3	3															1	2			
無機銅		炭酸水素ナトリウム・無水硫酸銅	軟腐病			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																			
銅剤		塩基性硫酸銅	軟腐病			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																			
殺菌剤回数				7	1	5	6	8	5	5	5	5	7	5	8	7	7	7	5	7	5	7	7	7	8										
殺虫剤		ベルメリン	ネキリムシ類																																
		テフルトリン			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1					1	1	1	1	1	1	1						
		アセフェート	アワメイガ																																
		インドキサカルブ	ハスモンヨトウ				2	2	1	2	1	1	1	2	2	2	2																2		
		エトフェンプロックス			3																													1	
		テフルベンズロン																																1	
		クロマフェノジド	ハスモンヨトウ																																
		チオジカルブ																																	
		クロルフェナビル	ハスモンヨトウ																																
		メタフルミゾン					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1															1	
		フルベンシアミド																																	2
		クロラントラニリプロール			2		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																
		ピリダリル																																	
		ジフルベンズロン	アワメイガ																																
		トラロメリン																																	
		カルタップ	アワメイガ		2	3		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1															
ホスチアゼート	ネコセンチュウ																																		
ジノテフラン	クロハネキノコバエ																																1		
BT剤		デルフィンBT	オオタバコカ																														2		
		ゼンターリBT	ハスモンヨトウ																																
殺虫剤回数				4	4	6	6	6	5	6	5	5	5	6	6	6	6	5	7	6	4	5	7	7											
除草剤		トリフルラリン	1年生雑草		1	1	1																												
		ベディメタリン					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																		
		ゲルホシネート					1							1	1	2																			
		ジクワット・パラコート																																	
除草剤回数				1	1	2	1	1	1	1	2	2	3	1	1	2	2	0	1	0	2	2	1	0											
農薬使用回数 合計				12	6	13	13	15	11	12	12	12	15	12	15	15	15	12	13	13	11	14	15	15											
栽培圃場 枚数				2	6	3	2	2	2	7	1	1	1	4	1	1	4	2	1	1	1	1	1	1	2										

基準においてカウントの対象としない農薬

BT剤 (デルフィン・ゼンターリ)
バリダマイシン・塩基性硫酸銅

<< 表の見方 >>

・各生産者は病害虫の発生状況に合わせて農薬を使用している為、1生産者で使用が異なる場合は「a,b,c,d」で記入しています。

節減対象農薬の使用状況（2018年度産）

※ 商品には下記の通り複数の生産履歴の生姜を混合しています

用途	生産者番号	使用資材名	用途	3-2			3-3	3-4	3-5	3-6		3-7				3-8	3-9		3-10		3-11			3-12	3-13			
				a	b	c				a	b	a	b	c	d		a	b	a	b	a	b	c					
殺菌剤		ダゾメット	根茎腐敗病	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1		1	1		1	1	1	1	1	1			
		クロルピクリン						1		1			1	1	1		1	1				1	1			1		
		クロルピクリン・D-D(2)																										
		メタラキシルM・アゾキシストロビン(2)		2	4			2				2	2					2										
		シアゾファミド																1										
		アミスルプロム																										
		有機銅・TPN(2)		紋枯病									2	2														
		TPN						2	1		1	1	2						1	1						1	2	
		トリフルミゾール		白星病	1	1	1	2	1			2	1					2	1	1	2	2	1	1	1	1	1	2
		テブコナゾール			2	2	2		1		3			1	1	1	1	2										
		ベンチオピラド																										
		ジフェノコナゾール							1		1									1	1	2	2					1
		ベノミル		いもち病					1		1			1	1	1	1							1	1			
チオファネートメチル	1	1	1			1		1	1	1			1	1	1	1	1	1				1	1	1	1			
バリダシン液剤		バリダマイシン	紋枯病			3	1	2	2	1					2	3	3							1				
無機銅		炭酸水素ナトリウム・無水硫酸銅	軟腐病												1	1												
銅剤		塩基性硫酸銅	軟腐病												1	1												
殺菌剤回数				5	7	9	6	9	8	7	7	5	5	4	4	9	5	6	4	4	3	3	4	4	8			
殺虫剤		ベルメリン	ネキリムシ類															1	1									
		テフルトリン				1	1				1	1	1	1			1	1								1		
		アセフェート	アワメイガ			1			1			1	1	1	1			1	1	1	1							
		インドキサカルブ	ハスモンヨトウ	2	2	2	3		1	2	2	1	1	1	1		2	2	1	1				2	1			
		エトフェンブロックス										1	1	1	1	1	1			1						2		
		テフルペンズロン				1	1										2											
		クロマフェノジド	ハスモンヨトウ						1									1	1			2	2	2				
		チオジカルブ				1			1					1														
		クロルフェナビル	ハスモンヨトウ																									
		メタフルミゾン						1																		1		
		フルバ`ンジアミド			2	2	2																					
		クロラントラニリプロール						2		2	2	2							1	1			1	1	1		1	
		ピリダリル																										
		ジフルペンズロン	アワメイガ	2	2	2		1			1	1					1	1	1			1	1	1				
		トラロメトリン								1			1	1	1	1												
		カルタップ	アワメイガ				1				1	1						1	1	1	1	2	2	2		1		
		ホスチアゼート	ネコブセンチュウ															1	1	1	1							
ジノテフラン	クロバネキノコバエ																							1				
BT剤		デルフィンBT	オオタバコガ					2	2	2						2	2							2				
		ゼンターリBT	ハスモンヨトウ														3	3										
殺虫剤回数				6	6	6	8	6	7	7	7	5	5	5	5	5	9	9	5	6	6	6	6	3	7			
除草剤		トリフルラリン	1年生雑草															1	1	1	1	1						
		ベディメタリン																										
		ゲルホシネート																										
		ジクワット・バラコート																										
除草剤回数				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1		0			
農薬使用回数 合計				11	13	15	14	15	15	14	14	10	10	9	9	14	14	15	10	11	10	10	11		7	15		
栽培圃場 枚数				2	3	1	3	3	2	3	1	2	2	1	1	3	1	3	2	1	3	1	1		2	4		

基準においてカウントの対象としない農薬

BT剤（デルフィン・ゼンターリ）
バリダマイシン・塩基性硫酸銅

《 表の見方 》

・ 各生産者は病害虫の発生状況に合わせて農薬を使用している為、1生産者で使用が異なる場合は「a,b,c,d」で記入しています。

節減対象農薬の使用状況（2018年度産）

※ 商品には下記の通り複数の生産履歴の生姜を混合しています

用途	生産者番号	使用資材名	用途	3-14	3-15	3-16	3-17		3-18		3-19	3-20	3-21	3-22		3-23	3-24	3-25	3-26							
							a	b	a	b				a	b				a	b	c	d				
殺菌剤		ダゾメット	根茎腐敗病						1				1	1	1				1	1	1	1	1			
		クロルピクリン		1	1	1	1	1	1			1	1			1				1	1	1	1	1		
		クロルピクリン・D-D(2)																								
		メタラキシルM・アゾキシストロビン(2)		4							2	2						2				2				
		シアゾファミド																								
		アミスルプロム																								
		有機銅・TPN(2)																								
		TPN			2	3	1	1					1		1						2	3	4	4	4	4
		トリフルミゾール					1	1	2	2			1		2						2	3	2	2	1	
		テブコナゾール		1			1	1					1						3							
		ベンチオピラド		1									1													
		ジフェノコナゾール														1	1									
		ベノミル		1			1	1					1	1	1	1	1			1	1	1	1	1	1	
チオファネートメチル			1			1	1							1	1	1										
バリダシン液剤		バリダマイシン	紋枯病	3			1	1	1	1																
無機銅		炭酸水素ナトリウム・無水硫酸銅	軟腐病																							
銅剤		塩基性硫酸銅	軟腐病																							
殺菌剤回数				8	3	5	5	5	6	6	6	6	5	4	5	7	7	7	9	9	6	8				
殺虫剤		ベルメリン	ネキリムシ類																							
		テフルトリン		1			1	1	1	1				1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
		アセフェート	アワノメイガ		2					1	1		1					2	1							
		インドキサカルブ	ハスモンヨトウ		1			3	2	2	2		1	2	2	1	1	1		2	3	3	3	3		
		エトフェンプロックス								1	1				1	1			2	1						
		テフルペンズロン	ハスモンヨトウ		1			1	1	2	2		2	2												
		クロマフェノジド												2												
		チオジカルブ		2										2							2	2	2	2		
		クロルフェナビル	ハスモンヨトウ																							
		メタフルミゾン					1	1										2								
		フルベンジアミド																								
		クロラントラニリプロール					1	2					1													
		ピリダリル	アワノメイガ																							
		ジフルペンズロン			1	2				1	1		1	1	1											
		トラロメトリン																								
		カルタップ			1		3	1	1				1	1		1	1	2	3	1						
		ホスチアゼート	ネコブセンチュウ																							
ジノテフラン	クロバネキノコバエ																									
デルフィンBT	オオタバコガ																			2						
ゼンターリBT	ハスモンヨトウ																									
殺虫剤回数				5	4	5	8	8	8	8	8	8	5	5	5	6	8	6	6	6	6	6				
除草剤		トリフルラリン	1年生雑草											1		1										
		ベディメタリン																								
		グルホシネート					1	1	1	1			1							2						
		ジクワット・パラコート																								
除草剤回数				0	0	0	1	1	1	1	0	1	0	1	0	2	0	2	0	0	0	0	0			
農業使用回数 合計				13	7	10	14	14	15	15	14	15	10	10	10	15	15	15	15	15	12	14				
栽培圃場 枚数				3	3	3	3	3	3	1	4	4	5	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1			

基準においてカウントの対象としない農薬

BT剤（デルフィン・ゼンターリ）
バリダマイシン・塩基性硫酸銅

《 表の見方 》

・ 各生産者は病害虫の発生状況に合わせて農薬を使用している為、1生産者で使用が異なる場合は「a,b,c,d」で記入しています。

節減対象農薬の使用状況（2018年度産）

※ 商品には下記の通り複数の生産履歴の生姜を混合しています

農薬の使用状況	用途	生産者番号 使用資材名	用途	3-27	3-28	3-29	3-31	3-33	3-34	3-35	3-36	3-38		3-40	3-41	3-42	3-45		3-46					
																					a	b		
																					a	b	a	b
殺菌剤		ダゾメット	根茎腐敗病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
		クロルピクリン		1		1					1	1		1	1	1	1	1	1	1	1			
		クロルピクリン・D-D(2)																						
		メタラキシルM・アゾキシストロビン(2)										2			2	2						2		
		シアゾファミド																				2		
		アミスルプロム																	1					
		有機銅・TPN(2)		紋枯病																				
		TPN			1	1		1	2					3	3		1	1	1			2		
		トリフルミゾール		白星病		3	1	2	1	3	2	1		1				1	1					
		テブコナゾール										1	2				2							
		ベンチオピラド																						
		ジフェノコナゾール				1		2				2							2		2	2		
		ベノミル		いもち病			1	1	1	1	1	1			1	1	1							
チオファネートメチル		1	1												1	1	1	1	1					
バリダシン液剤	バリダマイシン	紋枯病	1			3	4	1							2		3	3						
無機銅	炭酸水素ナトリウム・無水硫酸銅	軟腐病																						
銅剤	塩基性硫酸銅	軟腐病																						
殺菌剤回数				8	5	7	4	7	7	5	3	6	7	7	7	5	4	4	7					
殺虫剤		ベルメリン	ネキリムシ類																					
		テフルトリン		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1					
		アセフェート	アワメイガ			2				1	1													
		インドキサカルブ		3	2		2		1															
		エトフェンプロックス	ハスモンヨトウ		1	1		3	3	3	1	1	1	1		1								
		テフルペンズロン					2				1	1												
		クロマフェノジド	ハスモンヨトウ									1					2							
		チオジカルブ		1	1		2				1													
		クロルフェナビル	ハスモンヨトウ														1							
		メタフルミゾン				1	1					2			3	1	1	2	2					
		フルベンジアミド																						
		クロラントラニリプロール					2						2	3	3				3	3				
		ピリダリル																						
		ジフルペンズロン	アワメイガ		1		1							1	1	1		1	1	1				
		トラロメトリン																						
		カルタップ	アワメイガ				1	1	3	1	1					2	1	1	1	1				
		ホスチアゼート	ネコセンチュウ																		1			
ジノテフラン	クロバネキノコバエ						1								1									
BT剤	デルフィンBT	オオタバコガ				3				1														
	ゼンターリBT	ハスモンヨトウ																						
殺虫剤回数				7	8	6	11	8	7	7	6	6	6	7	6	7	8	8	3					
除草剤		トリフルラリン	1年生雑草								1						1	1						
		ベディメタリン																						
		グルホシネート								1	2	1	2	2			1	1	1					
		ジクワット・バラコート											2								4			
除草剤回数				0	0	0	0	0	1	3	3	2	2	0	0	1	2	2	4					
農薬使用回数 合計				15	13	13	15	15	15	15	12	14	15	14	13	13	14	14	14					
栽培圃場 枚数				5	2	3	1	7	1	2	6	1	1	9	2	3	3	1	1					

基準においてカウントの対象としない農薬
BT剤（デルフィン・ゼンターリ）
バリダマイシン・塩基性硫酸銅

《 表の見方 》

・ 各生産者は病害虫の発生状況に合わせて農薬を使用している為、1生産者で使用が異なる場合は「a,b,c,d」で記入しています。

節減対象農薬の使用状況（2018年度産）

※ 商品には下記の通り複数の生産履歴の生姜を混合しています

用途	生産者番号	使用資材名	用途	3-47	3-48	4-1	4-2		4-3		4-4			4-5	4-6		5-1	5-3		5-4	5-5	5-6	5-9				
				a	b	a	b	a	b	c	a	b	5-1	a	b	5-4	5-5	5-6	5-9								
殺菌剤		ダゾメット	根茎腐敗病						1		1	1	1		1	1	1		1	1		1	1				
		クロルピクリン		1	1	1		1	1										1	1	1	1	1	1			
		クロルピクリン・D-D(2)																									
		メタラキシルM・アゾキシストロビン(2)												2		2	2										
		シアゾファミド																									
		アミスルプロム		1	1																						
		有機銅・TPN(2)																									
		TPN		1	1	2			2	2	1	1	1			2	3	3		1	1	1		1	1	3	
		トリフルミゾール		1	1	2	3	3	2	2	1	1	1			3	2	3		1	1	1		2	3	1	2
		テブコナゾール																		1	1	1					
		ベンチオピラド																									
		ジフェノコナゾール											2	3	1												
ベノミル			1			1	1	1	1	1			1	1	1		1	1	1			1	1	1			
チオファネートメチル	1	1																				1					
バリダシン液剤		バリダマイシン	紋枯病							1	1	1					1	1									
無機銅		炭酸水素ナトリウム・無水硫酸銅	軟腐病																								
銅剤		塩基性硫酸銅	軟腐病																								
殺菌剤回数				5	5	6	3	4	6	6	6	7	7	9	9	8	6	6	6	5	7	4	8				
殺虫剤		ベルメリン	ネキリムシ類																			1					
		テフルトリン		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
		アセフェート	アワメイガ																			1	1	1	1		
		インドキサカルブ		1	1		2	2	2	2											1	1	1	1	2	1	2
		エトフェンブロックス	ハスモンヨトウ						1	1											1				1	1	
		テフルペンズロン				2									2	2	2		1	1	1		1	1	1	1	
		クロマフェノジド	ハスモンヨトウ	2	2																						
		チオジカルブ				1																					
		クロルフェナビル																			2	2					
		メタフルミゾン		1	1																		1				
		フルベンジアミド	ハスモンヨトウ																						2		
		クロラントラニリプロール											3	3	3						1			2			
		ピリダリル																									
		ジフルペンズロン	アワメイガ	1	1	1			1	1											1	1	1		1	1	
		トラロメトリン																			1						
		カルタップ	アワメイガ	1	1	2	3	3	2	2	2	1	1		2	2	3		1	1	1			1		1	
		ホスチアゼート	ネコブセンチュウ																								
		ジノテフラン	クロハネキノコバエ									1	1	1													
BT剤		デルフィンBT	オオタバコガ						4	4	4																
		ゼンターリBT	ハスモンヨトウ																								
殺虫剤回数				7	7	7	6	6	7	7	7	6	6	5	5	6	8	8	8	8	7	6	7				
除草剤		トリフルラリン	1年生雑草			1			1	1	1	1	1	1	1	1					1						
		ベディメタリン																									
		ゲルホシネート		1	1								1	1	1								2		1		
		ジクワット・パラコート																									
除草剤回数				1	1	1	0	0	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	0			
農業使用回数 合計				13	13	14	9	10	14	14	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	11	15			
栽培圃場 枚数				1	1	2	1	1	1	3	3	2	1	1	2	1	15	1	1	2	5	3	2				

基準においてカウントの対象としない農薬

BT剤（デルフィン・ゼンターリ）
バリダマイシン・塩基性硫酸銅

《 表の見方 》

・ 各生産者は病害虫の発生状況に合わせて農薬を使用している為、1生産者で使用が異なる場合は「a,b,c,d」で記入しています。